

「あなたの性格当ててみせます、科学的に」  
は信じていいのか？

大阪経済法科大学

喜入 暁

# 自己紹介

- ヒトの配偶戦略に興味
  - 身体的魅力
  - ダークパーソナリティ (Dark Triad)
  - パートナー暴力
- 主に社会心理、パーソナリティ心理、犯罪心理領域の現象に進化心理学的アプローチ
- 進化的視点から根本的なメカニズムを解明する

# 目次

- パーソナリティの考え方
- パーソナリティの測定
- パーソナリティと病理
- パーソナリティの進化的基盤

## ★重要な点★

- パーソナリティ測定の考え方がそもそも違う
- パーソナリティは客観的に扱う「指標」である

# 心理テスト1

- 家に強盗がやってきました。あなたは武器を持っておらず、隠れることしかできません。あなたが身を隠すとしたら家のどこですか？
- サイコパスの回答
  - ドアの裏
  - → 自分が有利になれる場所だから

# 心理テスト2

全く当てはまらない (1) ～ 非常に当てはまる (5)

- 私は、あまり自分のあやまちを認めることがない。
  - 私は、自分の行動の善悪にあまり関心がない。
  - 私は、どちらかということと冷淡で人の気持ちを気にしない。
  - 私は、どちらかということと疑い深いひねくれた人間である。
- 
- 得点を合計してください。
    - サイコパシー得点

# 心理テスト

- 心理テスト1は、怪しいサイコパス診断尺度
- 心理テスト2は、適切なサイコパシー測定尺度
- 何が違う？
- そもそもパーソナリティの考え方は？

# パーソナリティとは？

- 性格、人格、個人特徴、などと言われる。
  - 狭義には性格
  - 広義には、態度、興味、価値観なども含む

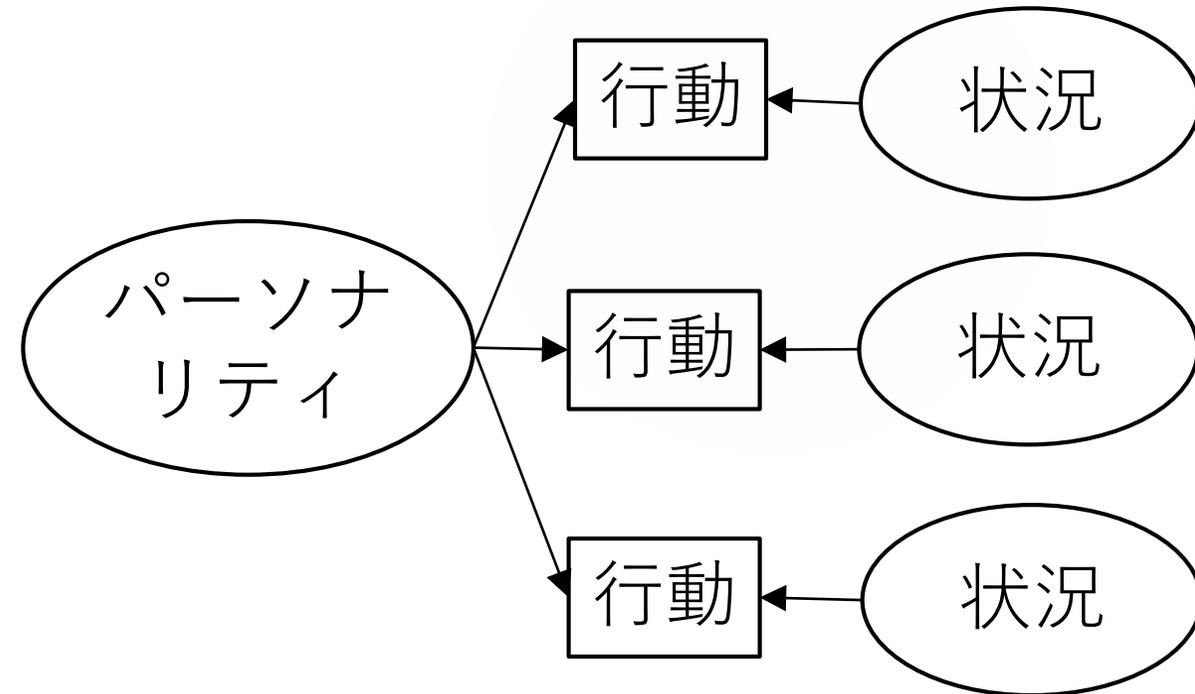
斜に構える

趣味

政治的態度

# パーソナリティとは？

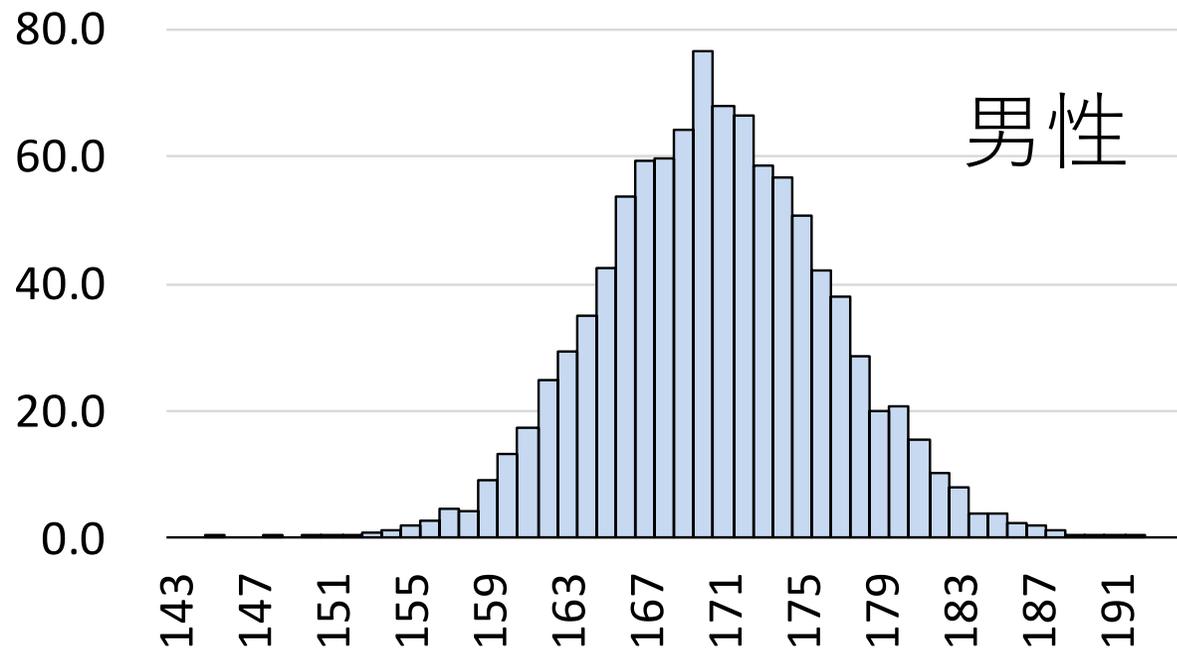
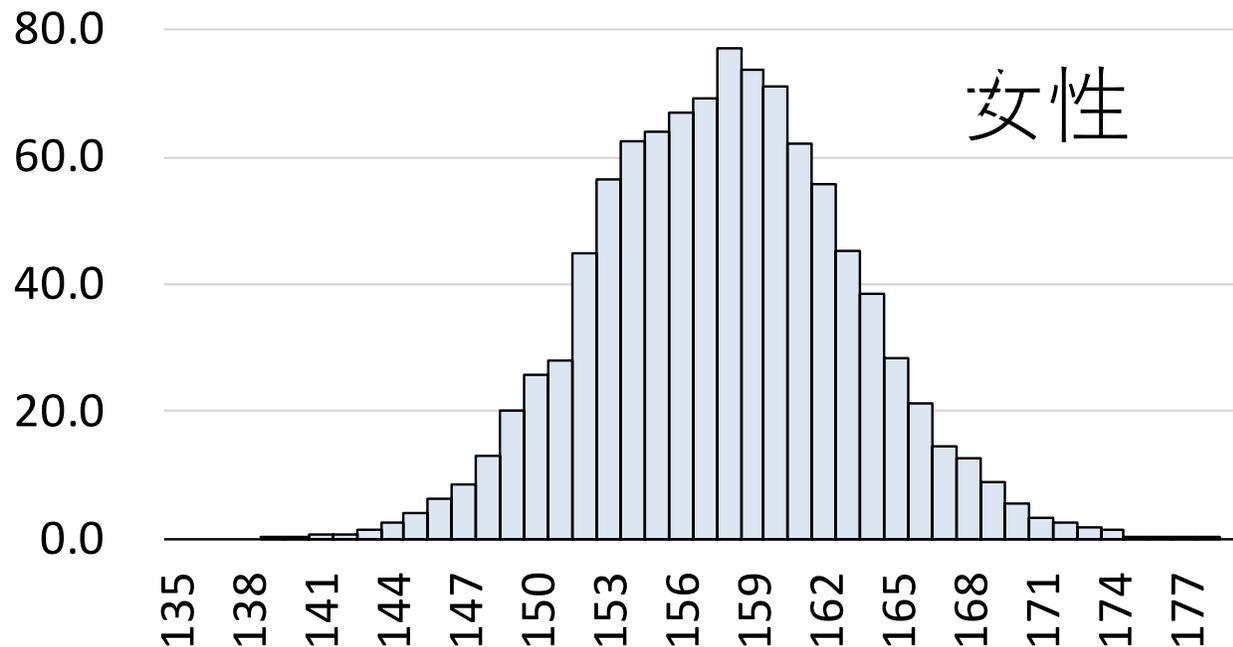
- ある個人のさまざまな行動に対して一貫したパターンや方向性を与える個人内要因
  - 時間的に安定
  - 個人内で一貫
  - 行動には状況も影響



# パーソナリティの記述

- 類型論は元々想定されるタイプに当てはめる
- 特性論はいろいろな要素がそれぞれどれくらいかを考える。
  - 身体検査みたいなもの
    - 身長、体重、視力、握力
    - 平均が最も多く、逸脱するほど人数が少なくなる。

平成29年度の全国高校生の身長→

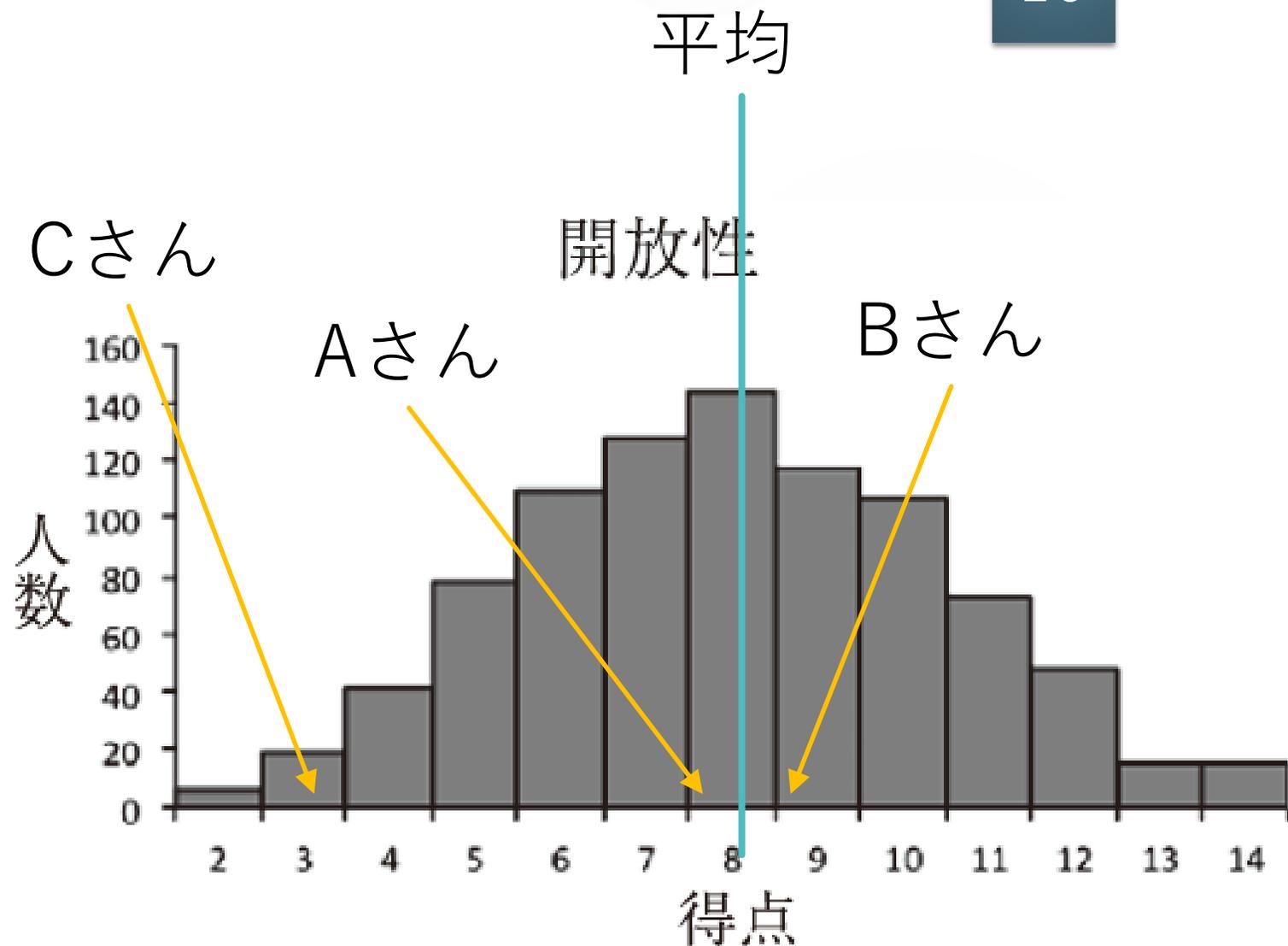


# パーソナリティの記述

- パーソナリティも同じ
  - 類型論だとAとCは同じグループ
  - 特性論でいえば、AとBが似ている。

## ★Point★

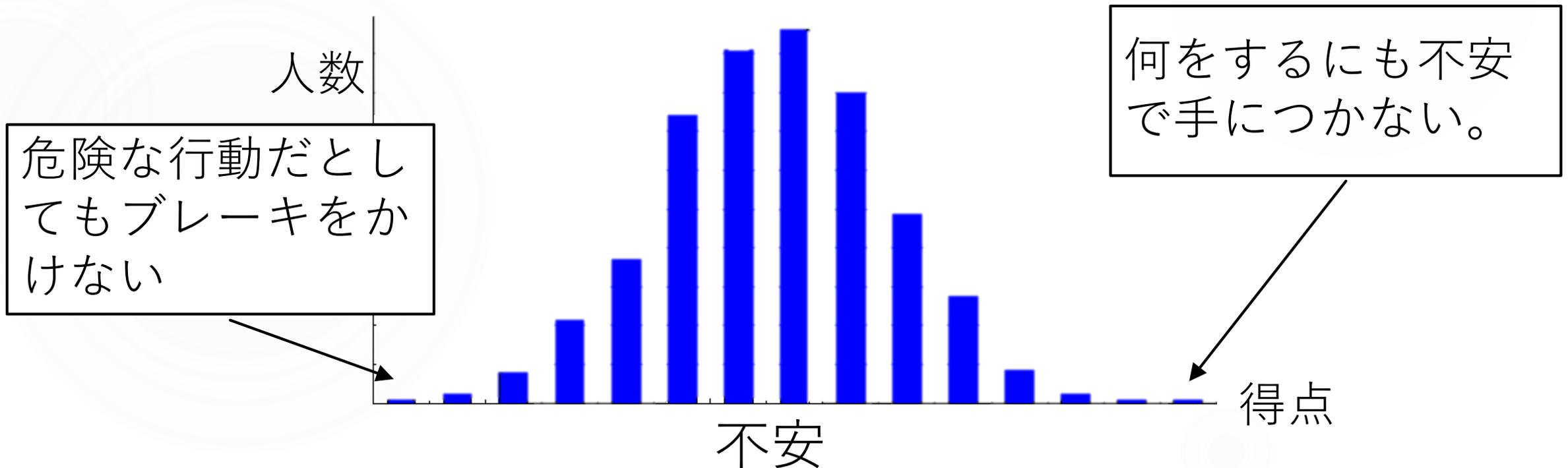
- いろいろな要素が何点なのか、で考える。
  - 要素は複数



# パーソナリティ得点の解釈

## ★Point★

- 良い/悪い、などはない。
- ※極端に高すぎても低すぎても、社会生活がしにくい。
  - たたとえば、不安



# パーソナリティ得点の解釈

## ■ 好意によるとらえ方の違い

### 好意的

意志が強い

さっぱりしている

積極的

世話好き

社交的

粘り強い

上品な

### 好意的でない

頑固

単純

あつかましい

押しつけがましい

軽薄

執念深い

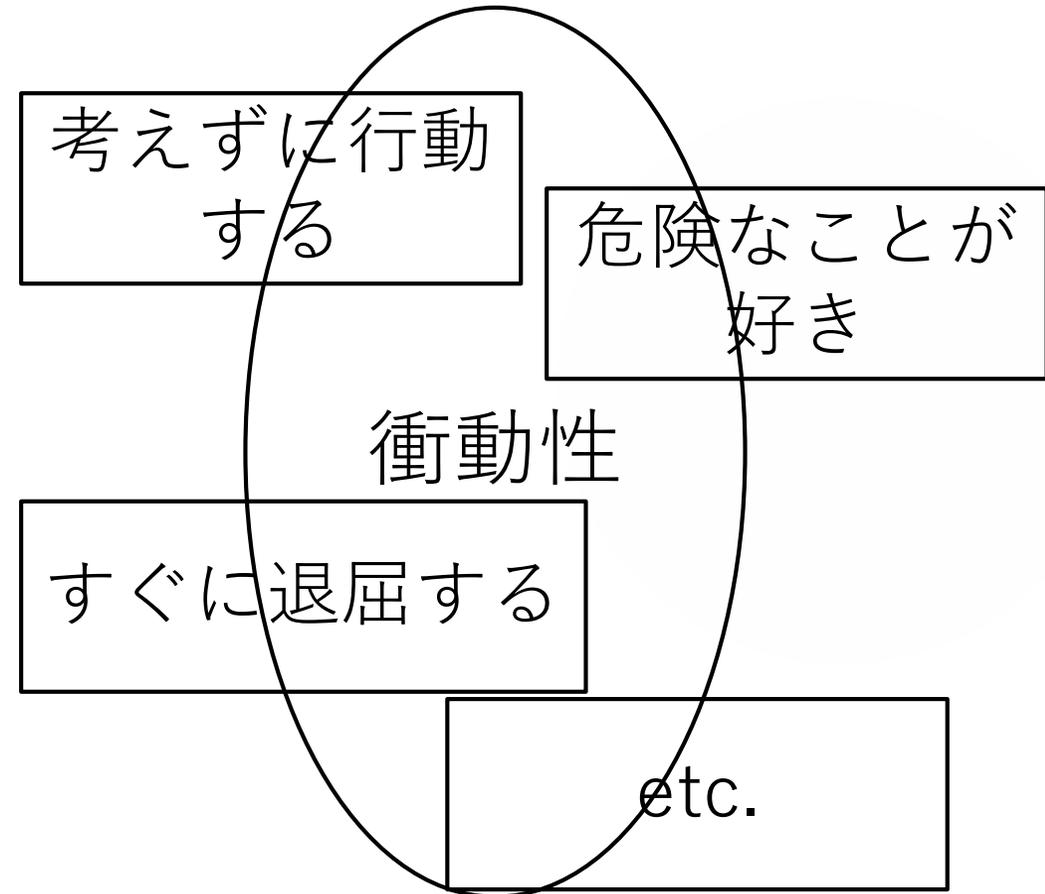
きざな

# パーソナリティの測定

- 身長・体重は測れる
  - ものさしがある
- 目に見えないものも何とかして見えるようにしよう！
- → ものさしを作ってしまうおう！
  - 「概念（構成概念）」を確立する。
  - 概念の定義は？
  - その概念に反映される行動・態度は？

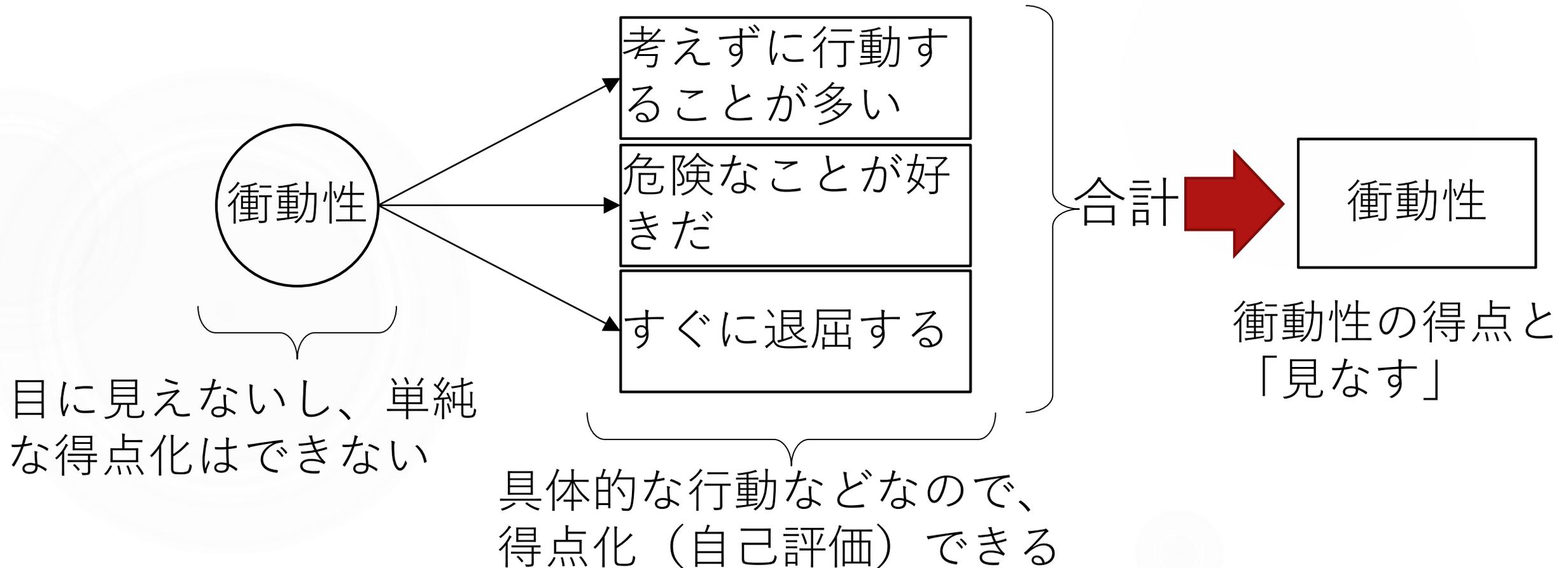
# たとえば、衝動性

- 目に見えない構成概念はさまざまな行動・態度に反映される。
  - 単一ではなく複数
  - → 複数の項目でまんべんなく



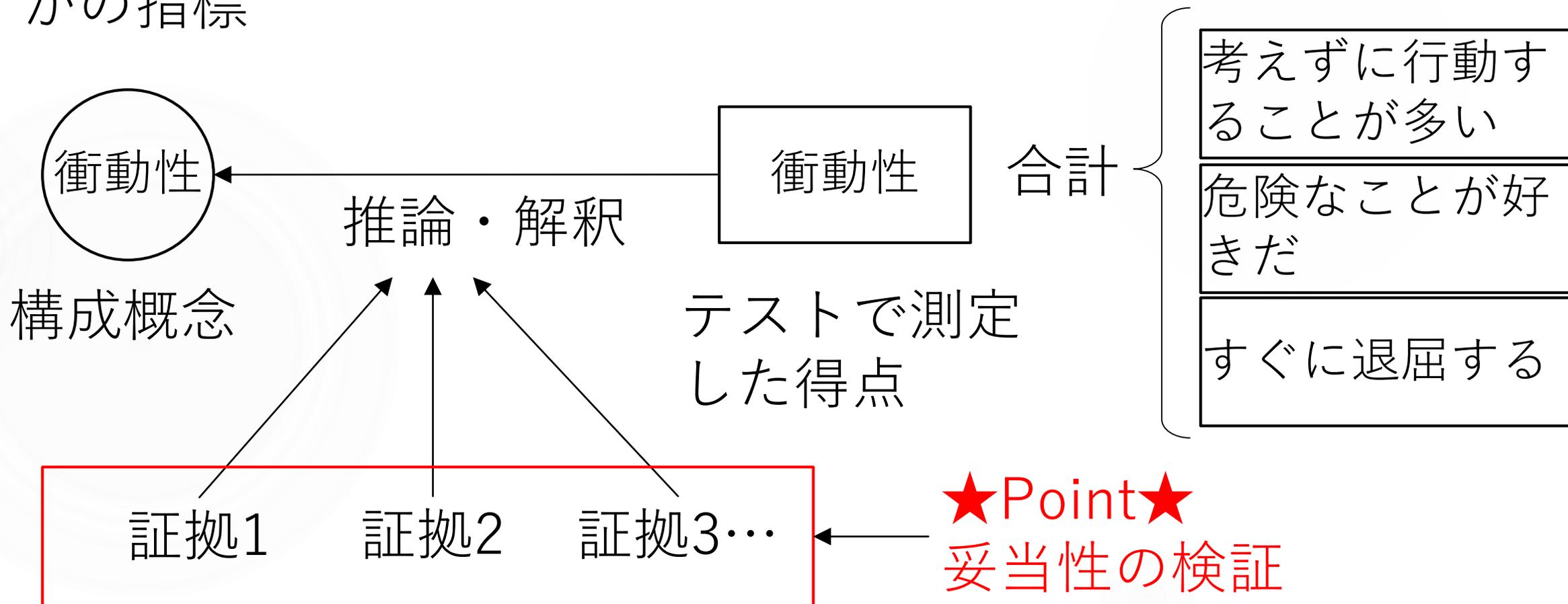
# たとえば、衝動性

- 「衝動性（目に見えない概念）が行動に影響する」、  
というモデルを考える

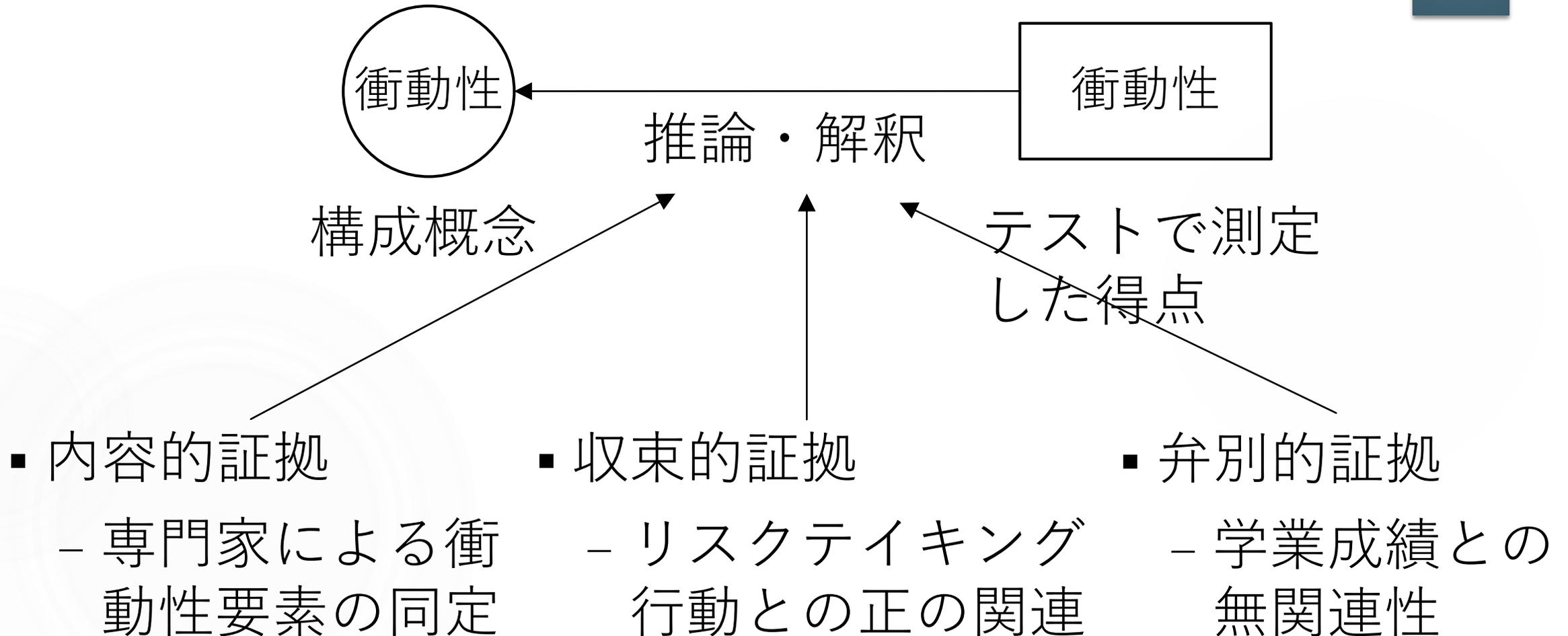


# 妥当性（構成概念妥当性）

- 測定したい「構成概念」を適切に測定できているかどうかの指標



# 妥当性（構成概念妥当性）



→ これらは基準の一つ

# 妥当性（構成概念妥当性）

## ■ 6つの基準

- 内容的側面：専門家による判断など
- 外的側面：他の変数との関連、他の変数の予測など
- 一般化側面：信頼性（測定の安定性）など
- 構造的側面：理論がデータで再現されるかなど
- 本質的側面：反応を心理学的に説明できるかなど
- 結果的側面：社会的影響の分析など

# 妥当性（構成概念妥当性）

## ■ 6つの基準

- 内容的側面：専門家による判断など
- 外的側面：他の変数との関連、他の変数の予測など
- 一般化側面：信頼性（測定の安定性）など
- 構造的側面：理論がデータで再現されるかなど
- 本質的側面：反応を心理学的に説明できるかなど
- 結果的側面：社会的影響の分析など

# 妥当性（構成概念妥当性）

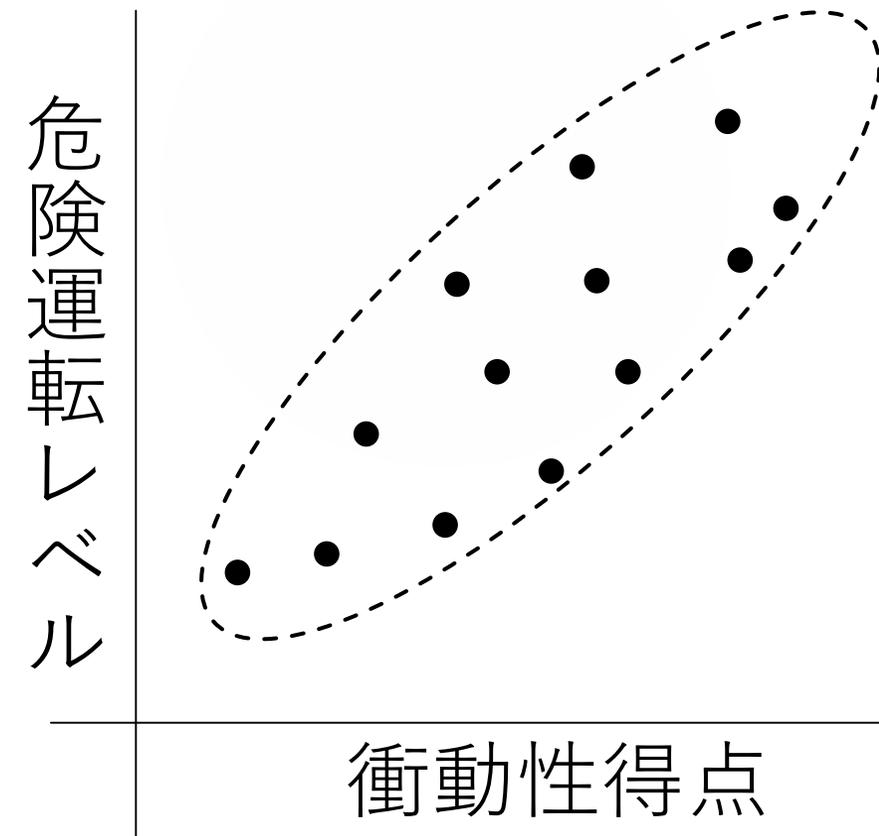
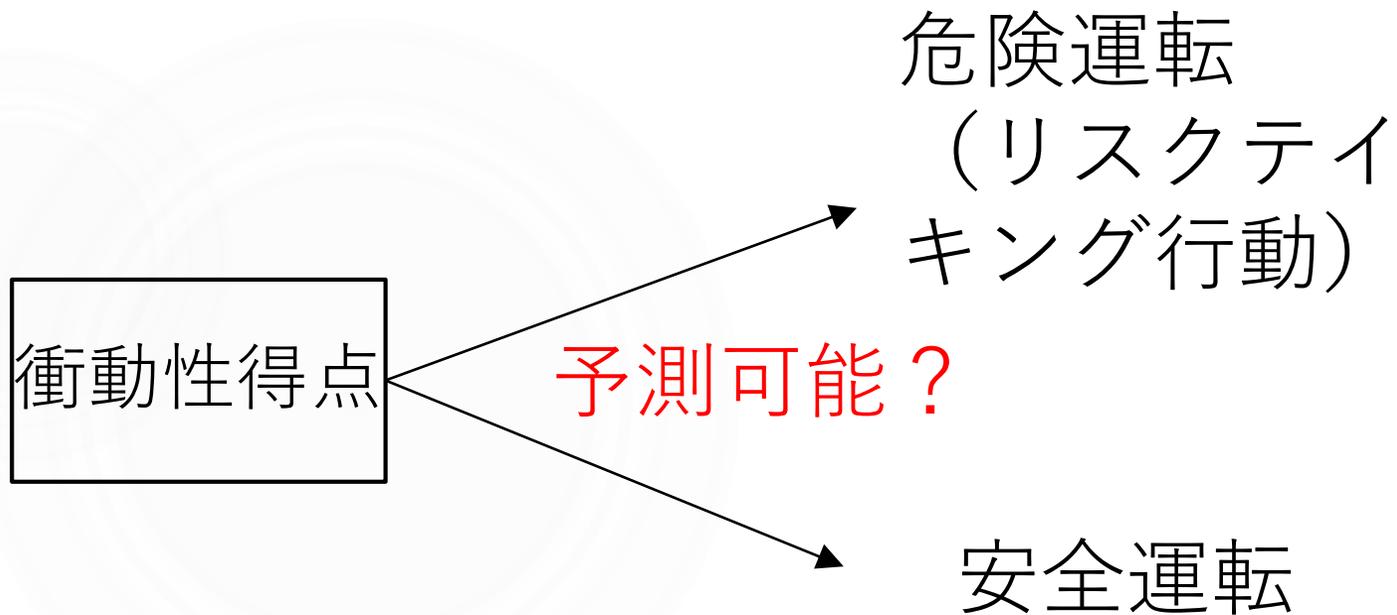
- 内容的側面
  - 専門家による「もっともらしさ」
- たとえば、以下で数学能力は測れるか？
  - You have two apples. You got three apples from your friend. How many apples do you have now?
  - あなたはリンゴを2つ持っています。あなたは友達から3つのリンゴをもらいました。今、あなたはリンゴをいくつ持っていますか。
  - $2 + 3 = ?$

# 妥当性（構成概念妥当性）

- 内容的側面
  - 専門家による「もっともらしさ」
- 考えずに行動することが多い ← 衝動性を測れそう
- 他者をうまく扱うのは苦手だ ← 衝動性は測れなさそう

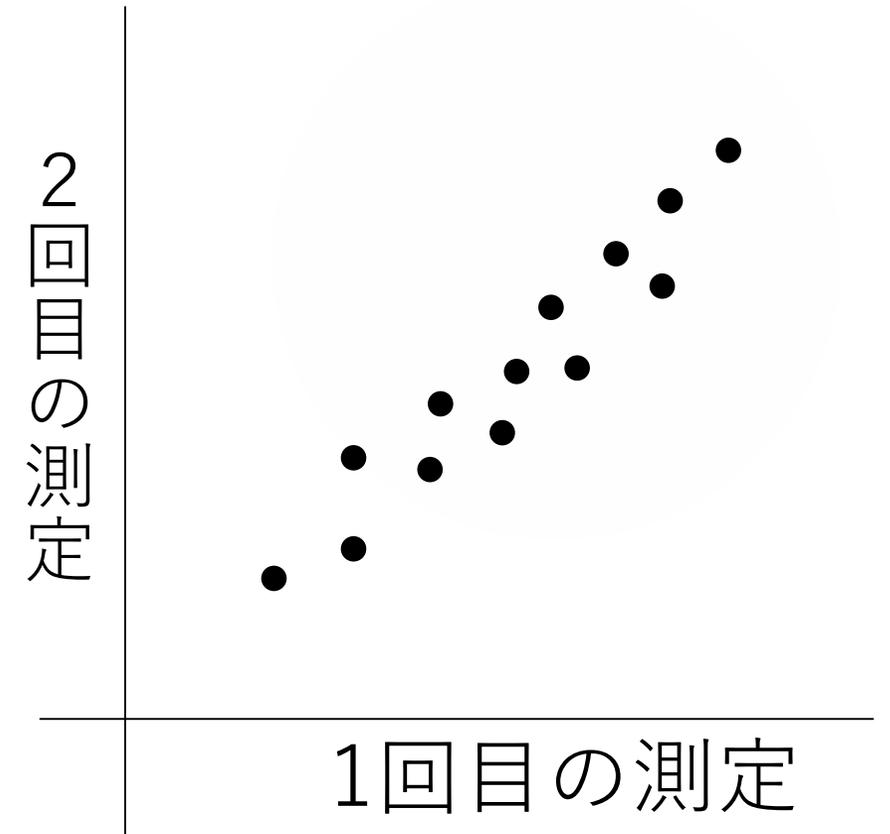
# 妥当性（構成概念妥当性）

- 外的側面：他の変数との関連



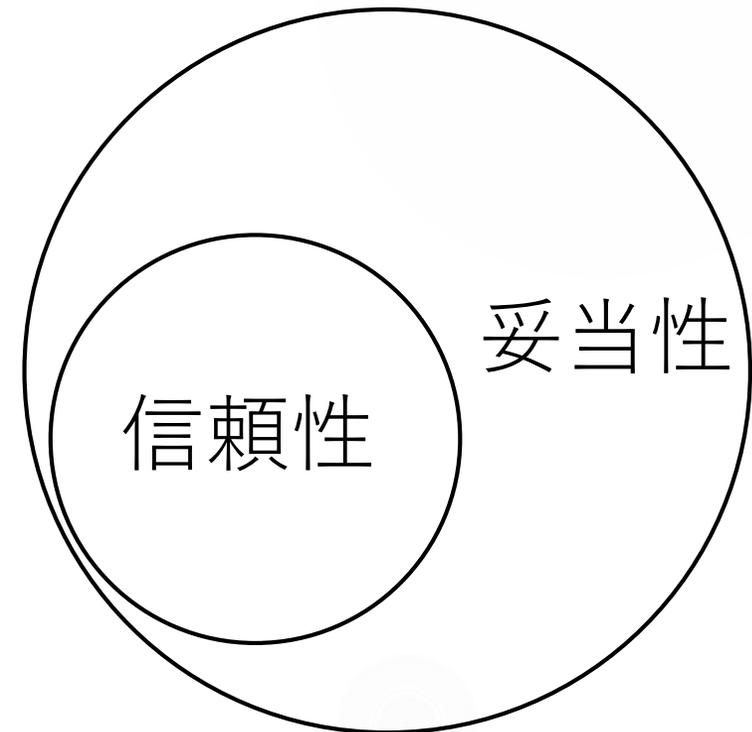
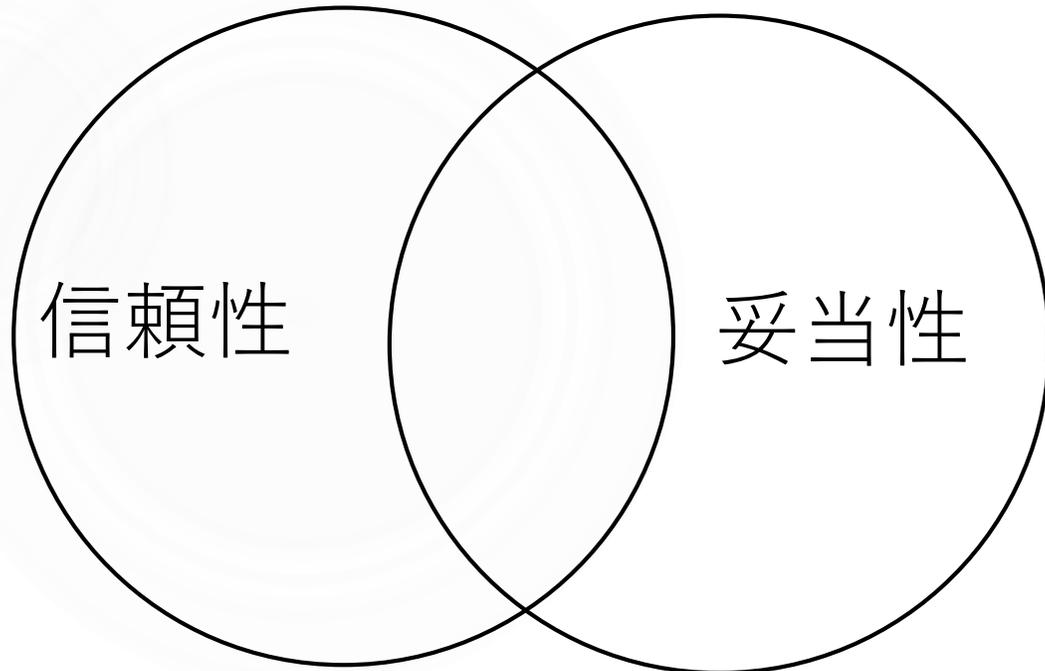
# 妥当性（構成概念妥当性）

- 一般化側面（信頼性）
  - 測定の実定性



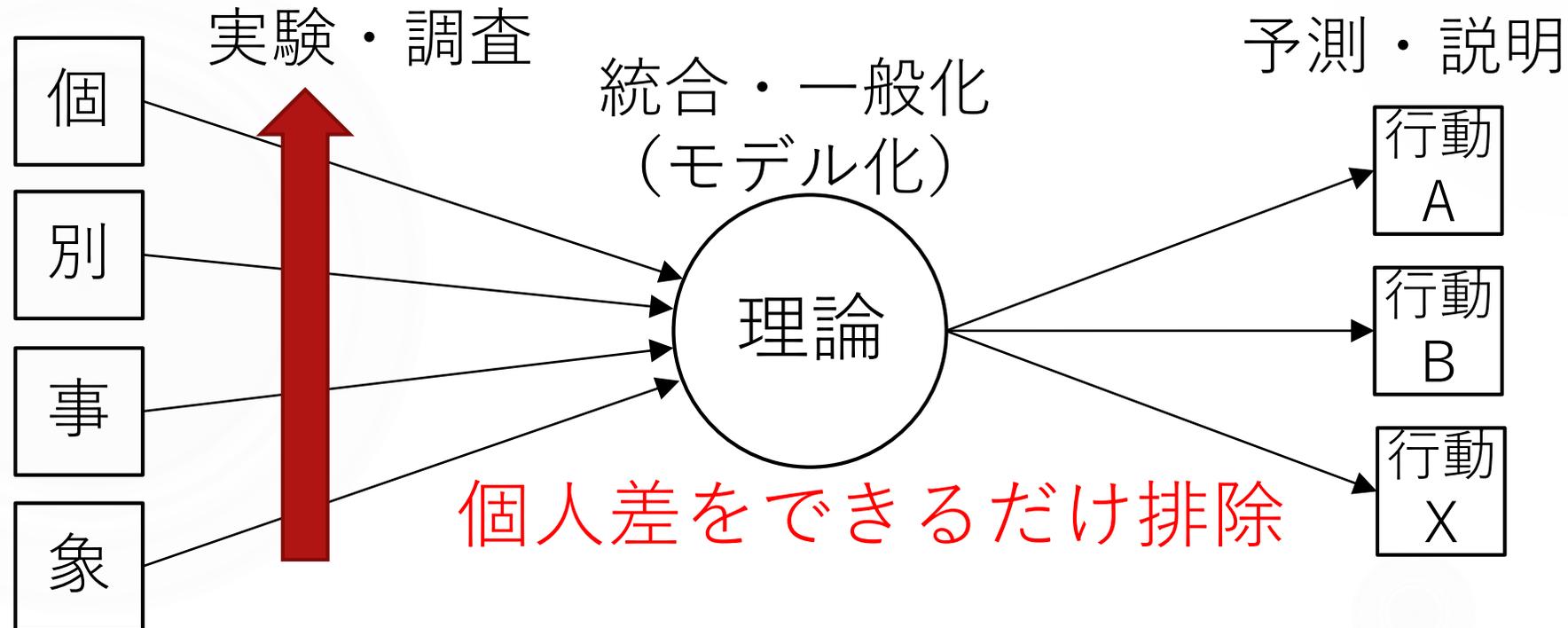
# 妥当性と信頼性

- 一昔前
  - 妥当性と信頼性を備えていることが大事
- 今の考え方
  - 信頼性は妥当性の一部



# パーソナリティを測定する意義：心理学のアプローチ

- ヒトの心のメカニズムや行動パターンのモデル化や、それに基づき予測・説明する学問

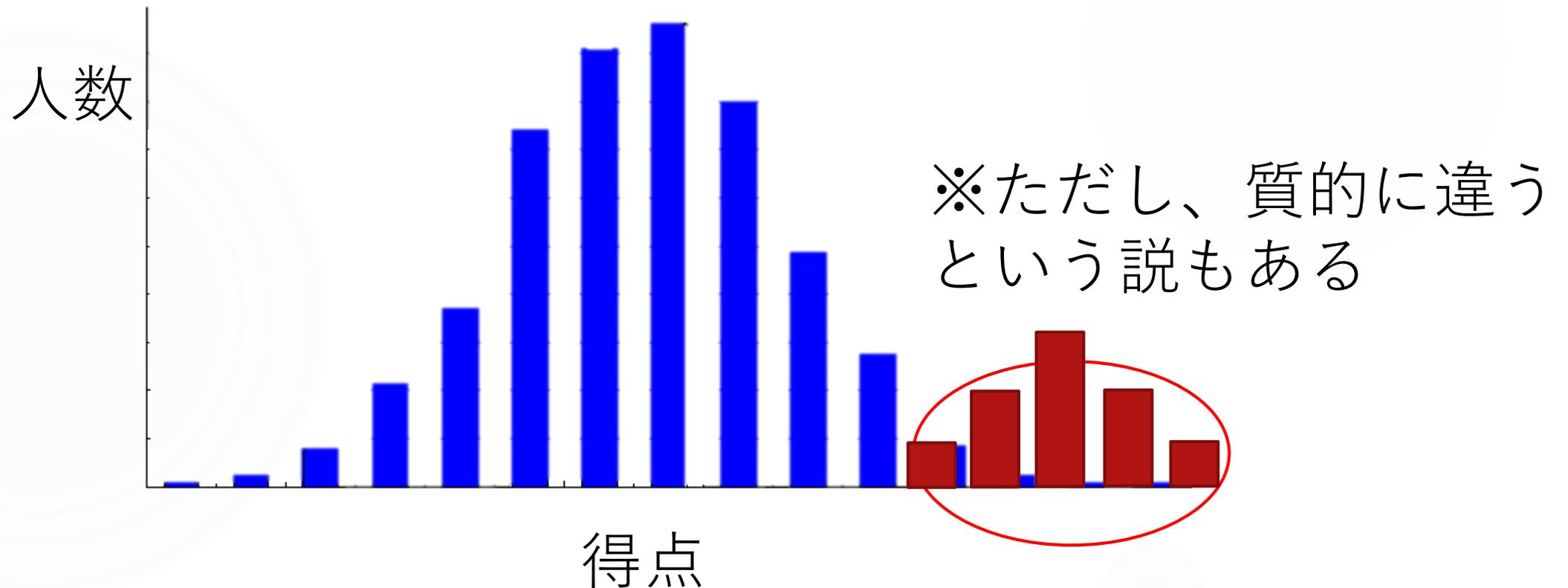


# パーソナリティを測定する意義：心理学のアプローチ

- 全体的な傾向を明らかにするタイプ
    - 基礎研究・大部分の心理学
      - 認知心理、社会心理、発達心理、+パーソナリティ心理学
- より詳細な心理へのアプローチ
- 個別の事象への応用
    - カウンセリングなど、介入に関する心理学
      - 臨床心理、精神医学、行動分析学、パーソナリティ心理

# パーソナリティと病理

- 極端で社会生活が困難 → パーソナリティ障害と診断
  - あくまで、特性の延長線上にある★Point★



# パーソナリティと病理

- 診断はいくつかのチェックリストでなされる
  - DSM-5、ICD-11
  - 診断もこの考えを踏襲してる。

## DSM-IV

ポイント (1)、(2)、(3)  
のうち合計6つ当てはまったら  
「障害」として診断

## DSM-5

重症度を特定する。  
レベル1 「支援を要する」  
レベル2 「十分な支援を要する」  
レベル3 「非常に十分な支援を要する」

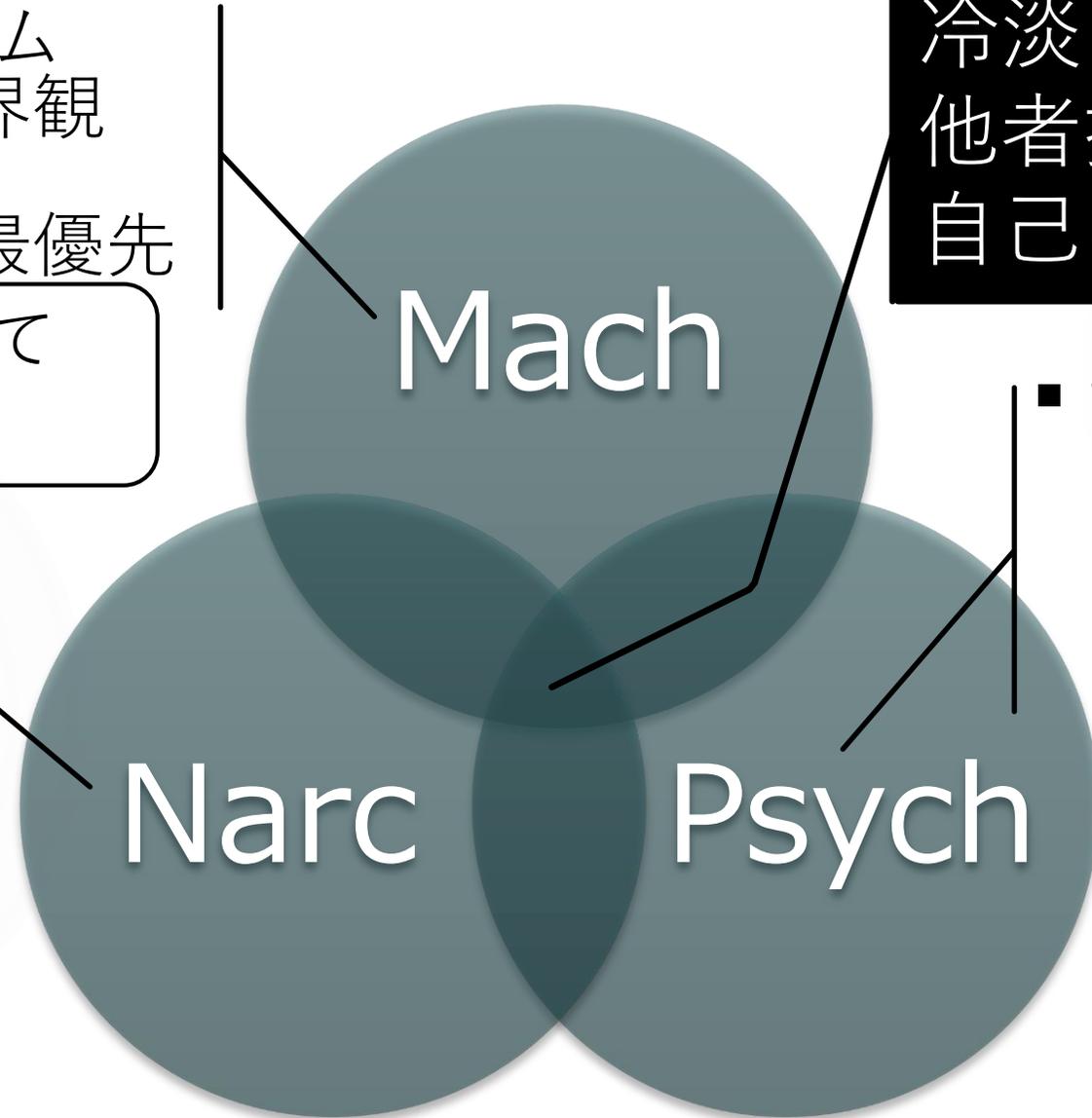
# 社会的に望ましくないパーソナリティ群

- マキャベリアニズム
  - シニカルな世界観
  - 道徳性の軽視
  - 自身の利益を最優先

他人がどうなってもしーらない

- ナルシシズム
  - 誇大性
  - 自己顕示性
  - 称賛欲求

他者は自分をよく見せるためのダシ



冷淡さ  
他者操作性  
自己中心性

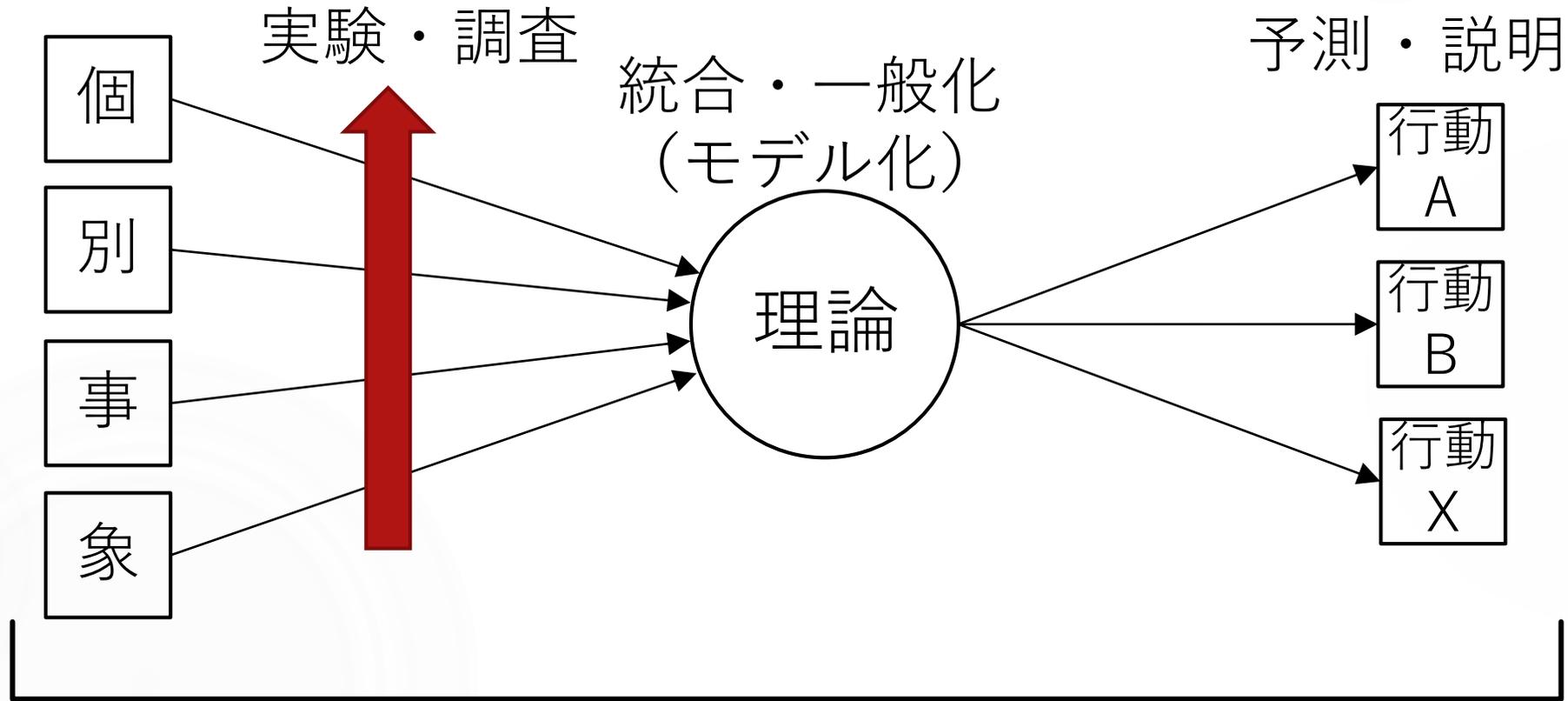
*Dark Core*

- サイコパシー
  - 共感性の欠如
  - 対人操作性
  - 不安定な生活様式
  - 反社会行動

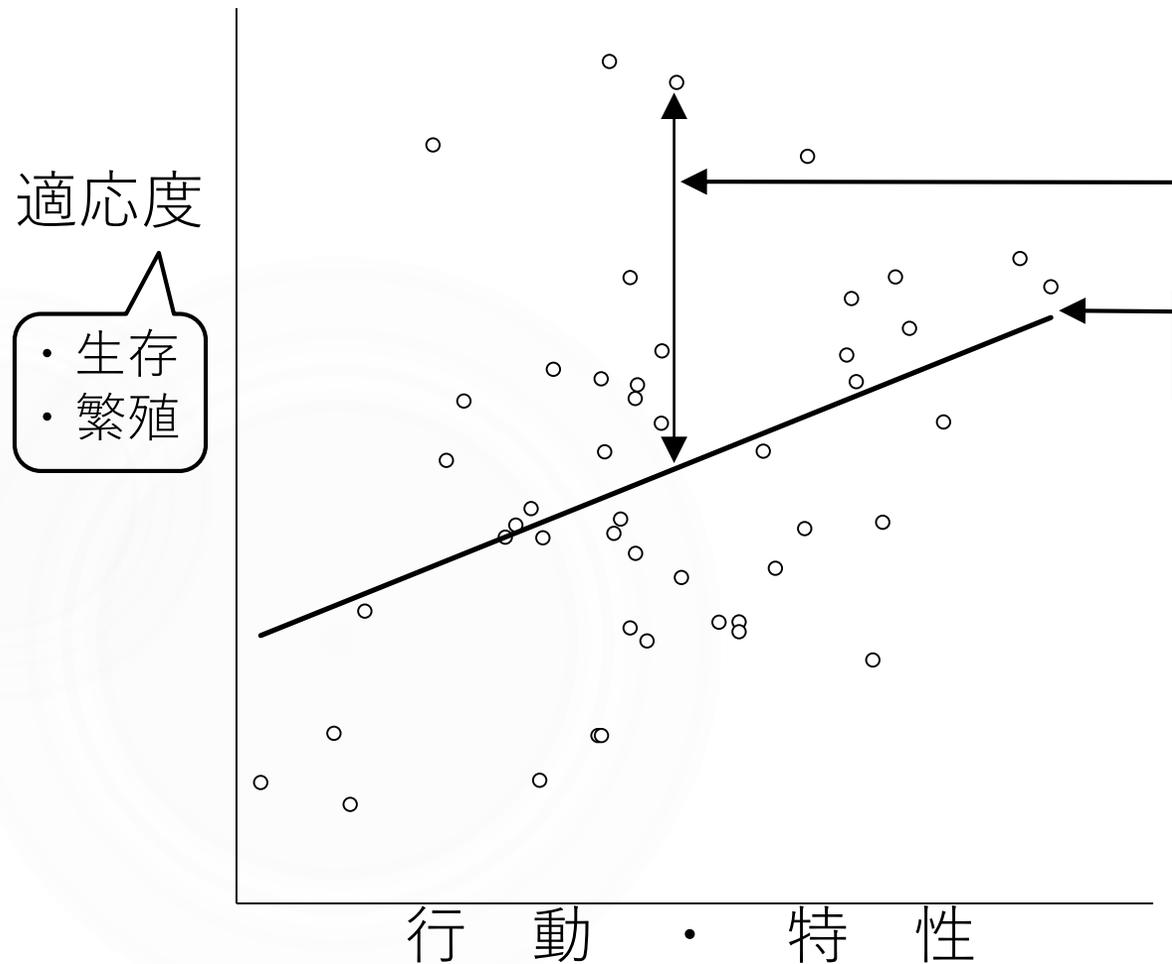
どうにでもなーれ

# 進化心理学的アプローチ

30



- 個別事象や理論の根本的なメカニズムは？
- なぜその行動が予測される？



- これまでの進化心理学的アプローチ

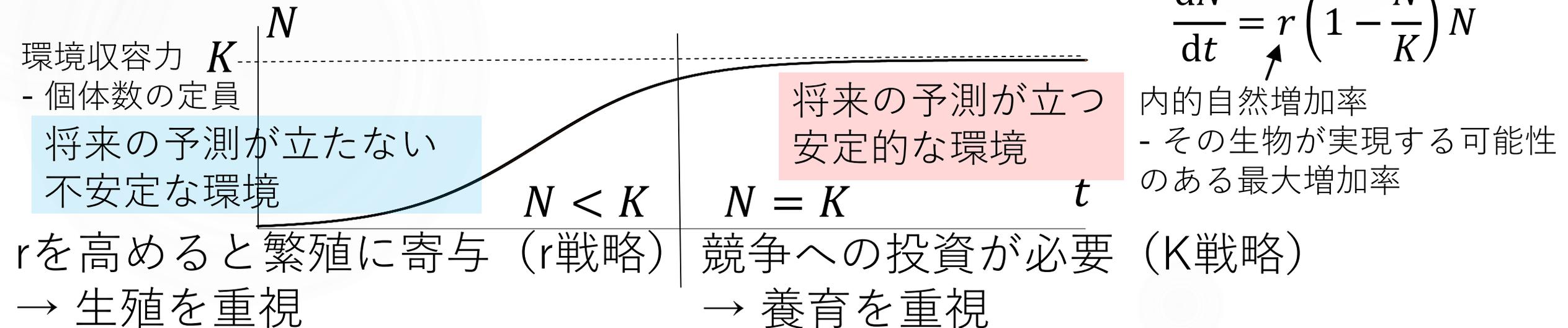
- 個人差は誤差

- ヒトに普遍的な側面を検証



- 個人差も重要では? (Buss, 2009)
- e.g., パートナー選択基準は,
  - × 2足歩行である
  - ○ 誠実性が高い

- 個人差を遺伝と幼少期の環境によって形成される各々の個体の戦略として一次元で捉える理論
  - 種間差を説明する (McArthur & Wilson, 1967; Pianka, 1970)
  - 種内差 (ヒトの個人差) にも応用できる (Figueredo et al., 2006)



❖ 早い生活史戦略

生活史戦略 (K-factor)

❖ 遅い生活史戦略

環境が不安定、将来の見通し×

- 他者をだましてでも生き残る
- 子どもは勝手に生き残ってくれ  
(生殖 > 養育; 質より量)

■ Dark Triadが高い人の特徴

- 自己中心性
- 攻撃性
- 衝動性
- 短期配偶戦略

環境が安定的、将来の見通し○

- 他者と協力
- 少数の子どもの大事に育てる  
(生殖 < 養育; 量より質)

■ Dark Triadが低い人の特徴

- 協力的
- 展望がある
- 長期的な対人関係
- 長期配偶戦略

# Dark Triadと生活史理論

- Dark Triadの進化的基盤は早い生活史戦略？

## ★Point★

- 現代社会では望ましくないパーソナリティも、何らかの適応上の利益があった可能性

# まとめとポイント

- パーソナリティは人物記述の1要素
  - 「良い/悪い」はない
- 適切なパーソナリティ検査は妥当性を有している
  - 構成概念を測定している複数の証拠がある
- 現代社会で生活が困難なほど極端なパーソナリティは病理として診断される。
- 進化的な観点からは、現代社会で望ましくないパーソナリティも何らかの適応上の利益があった可能性